

## 浜岡原子力発電所5号機 気体廃棄物処理系の点検作業の開始について

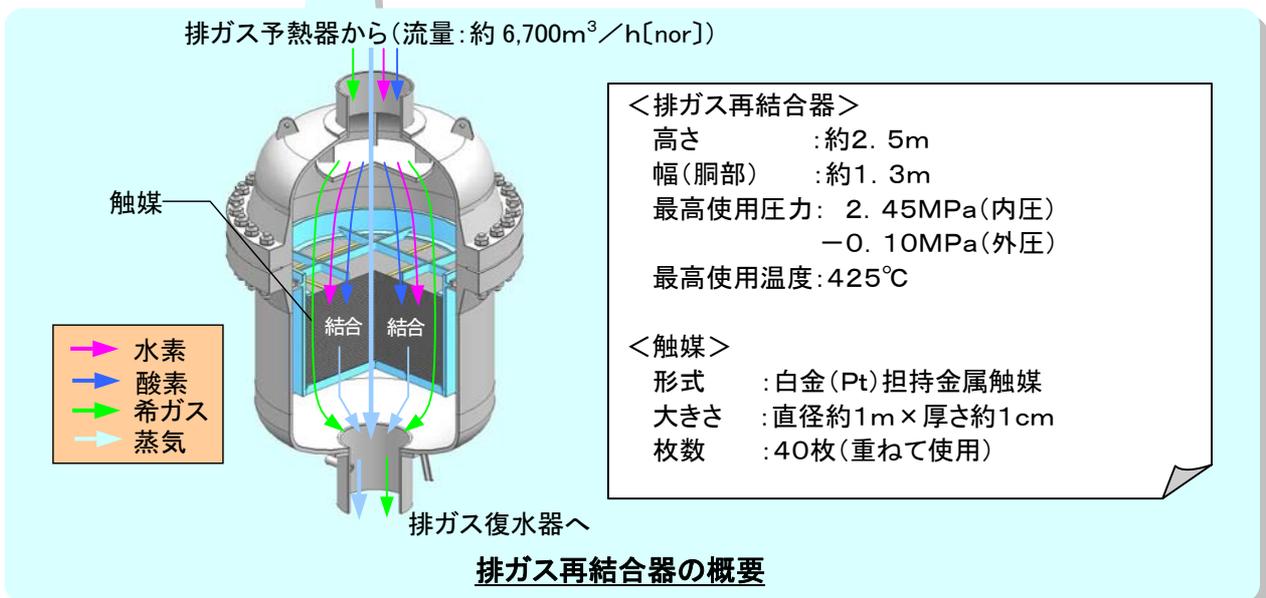
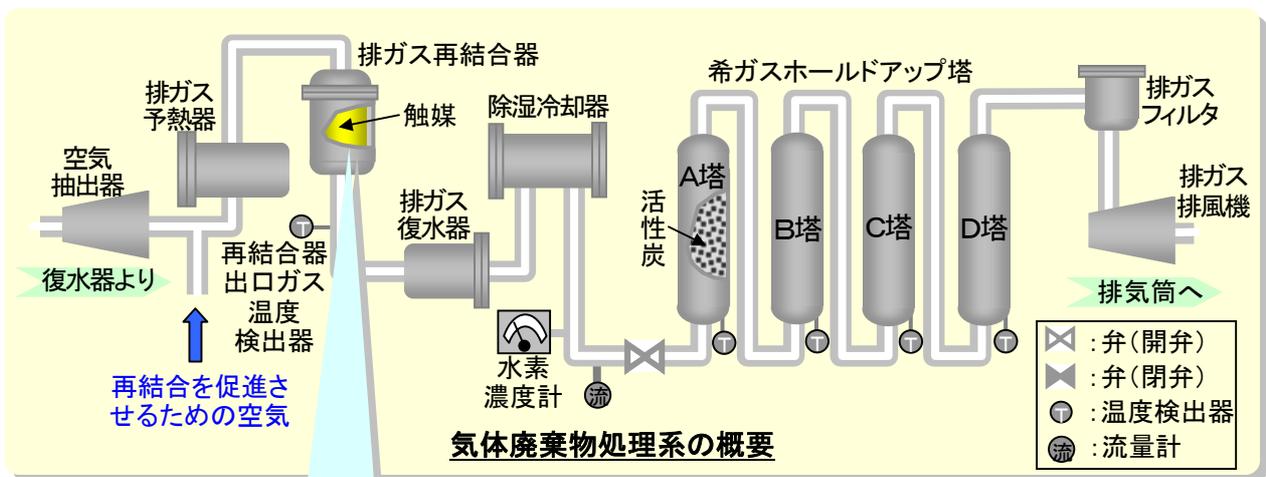
平成 21 年 1 月 15 日

5号機は、平成20年12月30日午前0時27分、発電機出力約83万キロワットで出力を一定保持していたところ、気体廃棄物処理系(※1)で系統内の水素濃度の上昇を示す警報(設定値:2%)が点灯し、その後も水素濃度が上昇傾向を示すとともに、排ガス再結合器の性能低下傾向が継続したことから、午前0時39分に原子炉を手動停止しました。  
(平成20年12月30日公表済み)

この度、点検の準備が整ったことから、明日より、排ガス再結合器を開放し点検を行います。

また、排ガス再結合器から取り出した触媒を用いて試験等を実施し、水素濃度が上昇した原因について、調査を行います。

点検結果および調査結果については、まとまった段階で適宜、お知らせいたします。



※1 気体廃棄物処理系は復水器に流入する「水素」、「酸素」および「気体状の放射性物質(希ガス)」を処理する系統です。  
このうち「水素」と「酸素」は同系統で処理(再結合反応)され水となります。

以上